

業務状況説明書(水道事業)

(令和6年4月1日から令和6年9月30日まで)

1. 令和6年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア. 業務

区分	令和5年度 上半期	令和6年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数(戸)	10,637	10,603	△34	99.7%
有収水量(m ³)	1,284,193	1,272,795	△11,398	99.1%

イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
三重町下赤嶺加圧場電気設備更新工事	33,143,000	
三重原地区配水管布設工事	6,083,000	
三重町肝煎加圧場他監視装置設置工事	11,550,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	537,025,000	272,524,380	50.7%	
	営業収益	437,228,000	222,637,128	50.9%	
	営業外収益	99,795,000	48,845,452	48.9%	
	特別利益	2,000	1,041,800	52090.0%	
支出	水道事業費用	572,374,000	156,309,492	27.3%	
	営業費用	529,132,000	137,558,892	26.0%	
	営業外費用	38,141,000	18,740,710	49.1%	
	特別損失	101,000	9,890	9.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	147,062,000	49,763,336	33.8%	
	企業債	96,200,000	0	0.0%	
	出資金	49,761,000	49,763,336	100.0%	
	工事負担金	1,100,000	0	0.0%	
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	330,881,000	105,879,085	32.0%	
	建設改良費	114,867,000	834,954	0.7%	
	企業債償還金	211,014,000	105,044,131	49.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		上半期残高	備考
	借入額	償還金		
2,822,520,027	0	105,044,131	2,717,475,896	

2. 令和5年度決算の概要

(1) 事業の状況

ア. 業務

区分	令和4年度	令和5年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	25,325	25,325	0	100.0%
年度末給水人口(人)	22,458	22,117	△ 341	98.5%
普及率(%)	88.7	87.3	△ 1.4	98.4%
年度末給水戸数(戸)	10,663	10,620	△ 43	99.6%
年間有収水量(m ³)	2,558,405	2,525,541	△ 32,864	98.7%
年間総配水量(m ³)	3,543,264	3,606,474	63,210	101.8%
有収率(%)	72.2	70.0	△ 2.2	97.0%
日最大配水量(m ³)	11,113	10,529	△ 584	94.7%
日平均配水量(m ³)	9,708	9,854	146	101.5%
1人1日平均配水量(ℓ)	432	447	15	103.5%
1人1日平均有収水量(ℓ)	312	313	1	100.3%

イ. 建設改良事業

建設改良工事では、90,744,467円の事業費をもって、施設関係では、千歳町千歳浄水場膜ろ過装置更新工事、三重町肝煎加圧場他電気設備更新工事、緒方町・犬飼町ポンプ更新工事を実施しました。配水管路については、県道改良工事に伴い、県道三重新殿線送水管移設工事、三重原地区配水管布設工事等を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
千歳町千歳浄水場膜ろ過装置更新工事	11,550,000	
三重町肝煎加圧場他電気設備更新工事	54,434,600	
緒方町・犬飼町ポンプ等更新工事	11,220,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額575,610,000円に対し、決算額577,434,770円(うち消費税及び地方消費税額 40,453,690円)で、35,958,201円の増となっています。また、前年度に比べ税抜金額で36,582,006円(7.3%)の増となっています。内訳として、営業収益で5,683,512円(△1.4%)の減、営業外収益で37,901,654円(42.6%)の増、特別利益で4,363,964円の増となっています。

一方、収益的支出は、予算額604,419,000円に対し、決算額544,333,785円(うち消費税及び地方消費税額25,878,699円)で60,085,215円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で27,810,158円の減となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費12,401,837円(△6.5%)の減、配水及び給水費7,119,928円(△8.2%)の減、総係費3,166,772円(9.1%)の増、減価償却費5,188,086円(△2.9%)の減、資産減耗費1,196,511円(42.1%)の増、営業外費用で企業債利息3,613,760円(△8.3%)の減、特別損失3,855,498円(△98.7%)の減となりました。

結果、収益的収支で18,525,994円の当期純利益となりました。

(単位：円・税抜)

科目		令和4年度	令和5年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	500,398,974	536,981,080	36,582,106	107.3%	
	営業収益	411,518,041	405,834,529	△ 5,683,512	98.6%	
	営業外収益	88,868,303	126,769,957	37,901,654	142.6%	
	特別利益	12,630	4,376,594	4,363,964	34652.4%	
支出	水道事業費用	546,265,244	518,455,086	△ 27,810,158	94.9%	
	営業費用	495,075,796	474,729,228	△ 20,346,568	95.9%	
	営業外費用	47,282,650	43,674,558	△ 3,608,092	92.4%	
	特別損失	3,906,798	51,300	△ 3,855,498	1.3%	
	予備費	0	0	0	—	

イ. 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額165,268,000円に対し、決算額130,755,225円で、34,512,775円の減となっています。また、前年度に比べて8,817,652円（△6.3%）の減となっています。内訳として、企業債で5,200,000円（6.9%）の増、出資金で8,343,022円（△14.6%）の減、工事負担金で5,674,630円（△76.9%）の減となっています。

一方、資本的支出は、予算額353,868,000円に対し、決算額308,866,502円（うち消費税及び地方消費税額8,257,121円）で、45,001,498円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で23,994,956円（△7.4%）の減となっています。内訳として、建設改良費6,383,534円（△6.5%）の減、企業債償還金17,611,422円（△7.8%）の減となりました。

(単位：円・税込)

科目		令和4年度	令和5年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	139,572,877	130,755,225	△ 8,817,652	93.7%	
	企業債	75,100,000	80,300,000	5,200,000	106.9%	
	出資金	57,092,007	48,748,985	△ 8,343,022	85.4%	
	工事負担金	7,380,870	1,706,240	△ 5,674,630	23.1%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	333,514,221	308,866,502	△ 24,647,719	92.6%	
	建設改良費	107,818,046	100,781,749	△ 7,036,297	93.5%	
	企業債償還金	225,696,175	208,084,753	△ 17,611,422	92.2%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額178,111,277円は、当年度分消費税資本的収支調整額5,292,509円、当年度分損益勘定留保資金155,863,748円、建設改良積立金16,955,020円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況□

(単位：円)

前年度残高	決算年度中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
2,950,304,780	80,300,000	208,084,753	2,822,520,027	